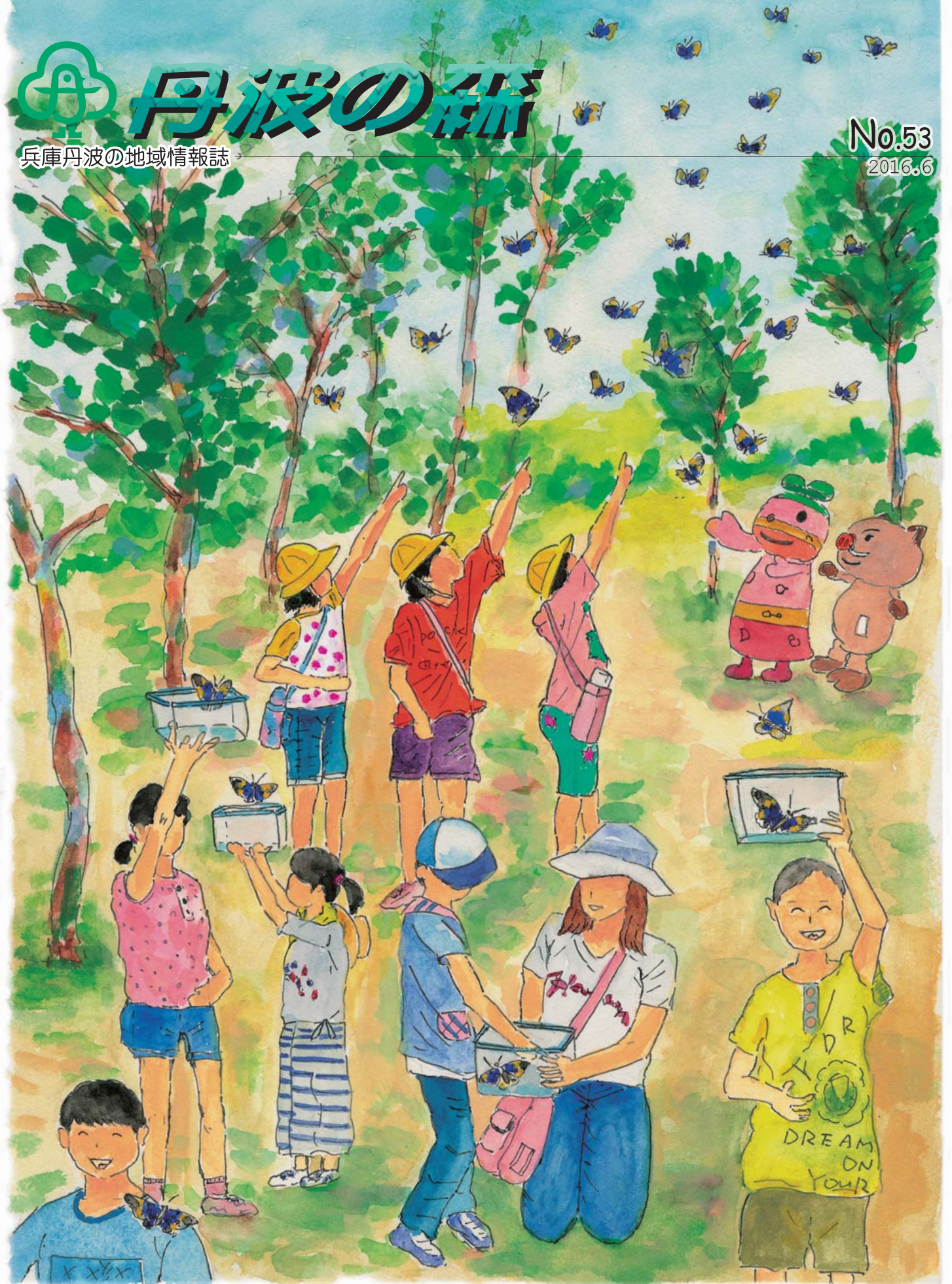




丹波の森

兵庫丹波の地域情報誌

No.53
2016.6



* CONTENTS *

表紙絵「オオムラサキの森」福田秀樹

- ◆ 新たな日常の開拓を／地域創生・丹波から再び…p2・p3
- ◆ 森あそびのススメ…p4
- ◆ 青少年本部からのお知らせ／くらしあんしん…p5
- ◆ 丹波の森情報／丹波の森公園…p6
- ◆ 丹波年輪の里／ささやまの森公園／丹波並木道中央公園…p7
- ◆ むかしばなしでホッと一息／森のクイズ…p8

新たな日常の開拓を



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

2016年3月末、丹波の森公苑での仕事を終え、福知山線の柏原駅から、16時過ぎの、新大阪行き特急コウノトリに乗車したときのことでした。たまたま指定席を取っていたのですが、隣に大きなキャリアバッグを持った若者が眠りこけて座っていました。一見で観光客ではなく、但馬あるいは丹波から、就職あるいは進学で、都会へ行くような気配を感じ取り、話しかけもしないで熟知たる思いで隣に座っていました。

一般に、人生の旅立ち、巣立ち

の季節は、4月はじめ頃です。

駅や空港で、進学、就職のため、キャリアバッグを携え、希望にもえた姿で旅立つ若者に遭遇する情景は、季節の風物詩でもあります。

20年程前までのことになりましたが、以前に勤務していた大学で、約20年間にわたって約300人の学生を研究室に迎え、超実践的な2年間の学習を共有し、社会に送り出してきました。社会や会社などに、上手く馴染んでくれるだろうか、大丈夫なのだろうか、彼らの新たな旅立ちを心配していたことを、昨日のように思い出されます。自分が年をとったせいなのでしょうが、ひとしお感慨深く思われる日々です。

類似した言葉に、「旅立ち」と「観光」があります。旅立ちとは、原則的には出発した地域に戻ってこなくて、新たな日常の生活を他の地域で構築することであるといえます。観光は、出発した地域に戻ってくるのが前提で、非日常の生活を他の地域で体験することであるといえます。

丹波の森公苑は、開園20年を迎えることができました。自律ある自立した成人としての組織が、新たな旅立ちではなくて、新たな日常の開拓を推進することが求められているといえるでしょう。新たな丹波ビジョンの共有とマネジメントのさらなる推進が期待されます。

地域創生。 丹波から再び

こんにちは！、ふくろう爺さん。この前、三月の終わりごろにツバメが飛んでいるのを見たわ。

そうじゃな、春になるとちゃんと飛んでくるなあ。ところで、四月二十九日に「丹波の森公苑開園二十周年記念行事」があったんじゃが、たんちゃんは何を知ってよかったかい？

うん、オープニングのハーモニカの演奏、すごく良かったよ。それから記念植樹も見たよ。



丹波の森公苑開園20周年記念植樹の様子

さすが、たんちゃんだね。丹波の森公苑が開園して今年で二十年になるんじゃ。県立丹波の森公苑は県内初の「生活創造センター」として平成八年四月に作られたんじゃ。



「生活創造センター」って、どんなことをするところなの？



そうじゃな、生活創造センターは、こころ豊かな地域づくりの活動に取り組み拠点となる施設なんじや。ここで学んだことを活かし、地域での活動を通して、さらに新しい学び、活動につなげていこうと言うものじや。



ふーん、だから篠山や丹波では地域づくりが活発なのね。



うーん、そうとも言えるが、地域づくりが活発な地域だからこそ丹波の森公苑のような施設がつけられたと思うな。大きなきっかけとなったのは昭和六十三年の「丹波の森宣言」じやな。この宣言は、丹波地域の二万世帯以上が署名した丹波の森（地域）づくりの指針ともいへきものじや。



うーん、ちょっと難しそうね。「地域づくり」って地域の食べ物や風景とか色んな資源を活かして販売したり、体験して楽しんでもらったり、都会から沢山人が来てもらったりすることよね。つまり、地域の人が地域を元気にすることよね。



たんちゃん、なかなか鋭いな！そうなんじや、地域の人達が活動の中心なんじやが、当時、活動の中心だった人も高齢となり、活発な活動が難しくなって来ておるんじや。



そうね。これからは若い人達と協力した活動が必要ね。



少子高齢化により、地域社会の活力が減退している今日、新しい地域づくりの形が生まれている。それは若い世代が中心となって、地域課題の解決や地域づくり活動を仕事（ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスなど）として取り組むことじや。



それって、いいね。だって若い人達の職場ができるのでしょ。



そうなんじやが、そのためには色々これまで地域づくり活動をやって来た人達の経験や地域の人達の応援が不可欠なんじや。地域の様々な資源を活かし、若い世代のアイデアや技術（インターネットなど）を活用して地域の課題を、地域の人達と協働で解決できればいいじやろ。



それって、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想の時にも同じような話を聞いたような？



たんちゃん、今日は本当に鋭いな！フィールドミュージアム構想も化石を初めとする地域の資源を活かして、地域の取組（ビジネス）として創出していこうとしているんじや。

そのためには、地域の人達の温かいもてなしの気持ちが必要なんだが、それと共にビジネスとして価値のある体験内容、満足感が必要なんじや。それには都会の人たちのニーズや若い世代の感覚が必要となる、そのためには若い世代や都市住民など、たんちゃんもな、一緒に考えて行くことが、

とても大切になってくるんじや。



地域と若い人達が協働して取り組めるビジネスがもつともっと広がるといいね！



そうじゃな。丹波県民局や篠山市、丹波市でもいろんな形で取り組んでおるぞ。たとえば県民局では「たんば交流実践リーダー育成講座」（第1回は六月二十五日）、篠山市では「駅ラボ（人材育成）」や「地域ラボ（ビジネスチャレンシの場づくり）」の取組、丹波市では「地域プロデューサー養成講座」など、様々な取組みがあるぞ。地域の若い世代には一度は参加してもらいたいなあ。



話を聞くだけじゃ大変なので、楽しいワークショップみたいなのがいいな。



そうじゃな。今年はフィールドミュージアムのプロジェクトや「たんば交流実践リーダー育成講座」でも、色んな世代や職業、また都会に住み人達が集まって、面白いワークショップをやる予定なんじや。たんちゃんも参加して欲しいなあ。



えー、私は若い世代と言うより子供世代だから、ちょっと若すぎるんじやないの？



今日のたんちゃんはなかなか鋭い指摘があったからのう。子供世代の意見も大切じゃと言いたい。



そうかしら。エッヘン。機会があれば行ってみようかな。



たんちゃんは小学生だが、これからは中学生や高校生のみんなにも地域づくりに参加して欲しいもんじやなあ。



プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなってきた。



ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあたたく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源（人・モノ・カネ・情報など）をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員がかけアドバイスをしたり、ご相談に応じます。

ご連絡は
兵庫丹波の森協会(門上)へ
TEL:079-424-0011
FAX:079-424-0003
E-mail:morikenkyu@tanbamori.or.jp

森あそびのススメ

ササユリ（笹百合）

毎年6月上旬頃（早い年は5月下旬）になると、丹波の森公苑の東側のササユリ・ウワミズザクラの丘に淡紅色の可憐なササユリが咲き出します。

ササユリは、ユリ科ユリ属の多年草で高さ 50～60 cm、日本特産のユリで本州中部以西の野山の草やぶや林のへりに自生し、ユリの仲間ではいち早く6～7月に花を咲かせます。

葉が「笹の葉」に似ていることが名前の由来となっており、平成 16 年には篠山市の市花に制定されました。

ササユリは野生のユリの中では最も気難しいユリの一つ言われており、自生地から移植しても育たないと言われています。

また、野生では種子から初めて花を咲かせるまで、7年以上の歳月を要するとも言われています。

丹波の森公苑では、笹と混生しており、花が咲かないと見つけにくい状態ですが、鹿の食害から守るためにネットで囲んでいます。（ネットの外にも咲きますが・・・）

地域によっては、乱獲や環境の変化によって、その生息が脅かされており、各都道府県のレッドデータブックによれば、12 県で絶滅危惧種や準絶滅危惧種に指定されています。幸い、兵庫県ではそこまで危機的な状況ではありませんが、その生息環境を守ることが、地域の環境保全にもつながります。



ササユリの花



ササユリの新芽（中央の少し幅の広い葉）

〔ササユリがレッドデータブックに掲載されている地域〕

- **絶滅危惧Ⅰ類**；ごく近い将来、又は近い将来絶滅の危険性の高い種
6 県；山梨県、徳島県、香川県、高知県、大分県、宮崎県
- **絶滅危惧Ⅱ類**；絶滅の危機が増大している種
3 県；新潟県、石川県、愛媛県
- **準絶滅危惧種**；絶滅の危険度は小さいが、生息条件の変化によって絶滅危惧に移行する可能性のある種
3 県；長野県、三重県、奈良県

丹波青少年本部からのお知らせ

「たんぼ子ども塾」

今年も夏休みに開講します!!



夏休みに、丹波地域（篠山市・丹波市）の小学生が丹波地域の各高校をまわって、それぞれの高校の特色を活かした講座で学びます。

先生役は高校生!お兄さん・お姉さんとのふれあいも楽しみの一つ。

毎年恒例の大人気の講座を、今年も夏休みに開講します。



小学生・工作教室(篠山産業高校)

「丹波の森若者塾」紹介

昨年度、丹波青少年本部事業として各高等学校が地域内に拠点を持つ大学のサポートを受けながら実施する「丹波の森若者塾」事業を活用して行っている地域活動を紹介します。今回は、「氷上西高等学校」です。

「あまがき道の駅夕べ」

関西大学佐治スタジオサポートのもと、地域の祭りに参加して地域住民との交流や地元青垣中学校との協働・協力により地域の活性化について取りました。



◆お問い合わせ先

丹波青少年本部 TEL:0795-72-5168 FAX:0795-72-0899



「電力自由化について」

本年4月1日より、電力小売の全面自由化が始まりました。この制度を悪用した手口も横行しており、全国の消費生活センターや関連機関には、様々な相談が寄せられています。トラブルにあわないためには、契約前に正確な情報を収集し契約内容の理解に努め、制度に便乗して別の商品売りつけようとするなどの手口に十分気をつけることです。

小売電気事業者と新たな契約を締結する際には、次の3点について必ず確認しましょう。

- ① 国の登録を受けた「小売電気事業者」か、またはその代理店か
- ② 契約期間や月々の電気料金、解約要件など、契約の内容
- ③ 停電など困った際の連絡先

困ったときは、以下のそれぞれの窓口へご相談ください。

- <制度や登録業者に関する問い合わせ>
経済産業省専用ナビダイヤル 0570-028-555
- <契約締結に関するトラブル>
電力取引監視等委員会 03-3501-5725
- <不審な勧誘を受けたとき>
最寄りの消費生活センター 188 (三桁番号)

出前講座実施中 (費用無料)

センターが委託した消費者教育実践グループが、自治会や老人会などの集会に出向いて、悪質商法の手口と対処法についてクイズ等を用いてわかりやすく説明する、「出前講座」を行っています。ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公苑内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

丹波の森公苑

※下記のお問い合わせ先 丹波の森公苑文化振興部 ☎0795-72-5170

丹波の森公苑ホール等自主事業 影絵「長靴をはいたねこ」

日本で最初にできた現代影絵の専門劇団「劇団かかし座」が生み出す、人々の心を無限の想像へ駆り立てる影絵の世界をお楽しみ下さい。

- と き：8月6日(土)
1回目 13:00～14:15
2回目 15:30～16:45
- ところ：丹波の森公苑 多目的ルーム
- 料 金：大人600円、小人(3歳以上)400円 ※全席自由
- チケット販売：5月27日(金)～



講座「丹波学」 “丹波を形づくったもの”

「丹波を形づくったもの」をテーマに著名な講師を招き、最新の研究や情報などを織り交ぜながら、丹波地域の歴史について学ぶ講座を展開します。

- と き：9月～12月(予定) 5回シリーズ
- ところ：丹波の森公苑 多目的ルーム
- 内 容：「織田政権進出時の丹波と周辺諸国」
「中世荘園の遺産」
「大坂の陣と真田丸」など
- 定員：150人
- 受講料：5,000円 ●受講生募集：6月1日(水)～



丹波の森子どもミュージカル体験塾

小学生から高校生までの子どもたちが、演技を基礎から学び、プロの俳優と共演するための本格的な「歌」「ダンス」のレッスンを重ね、感動いっぱいの発表公演を行います。

レッスン

- 期 間：7月21日(木)～10月22日(土)の15回
- 体験塾生：(対象)小・中学生、高校生(定員)40人
- 参加費：6,000円

発表公演

- と き：10月23日(日) ●と ころ：丹波の森公苑ホール
- 演 目：Sing Together
- 入 場 料：大人500円、高校生以下300円 ※体験塾生募集：6月14(火)～



22nd 丹波の森国際音楽祭 シューベルティアードたんば2016

オープニング・サロンコンサート

- と き：9月11日(日) ①13:00～ ②15:30～
- ところ：お菓子の里丹波 ミオール館
- 出演者：畑儀文(テノール)、井本蝶山(尺八)他
- 料 金：3,000円(当日3,500円) ※ケーキ・お茶付き

ガラ・コンサート

- と き：11月13日(日) 13:30～
- ところ：丹波の森公苑ホール
- 出演者：畑儀文(テノール)、井本蝶山(尺八)他
- 料 金：大人2,500円(当日3,000円)、
中高生1,000円(当日1,500円)、小学生無料



「今年のフランツ」井本蝶山(尺八)

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

第29回

丹波の森 ウッドクラフト展

(木のおもちゃ大賞展) 作品募集

丹波の森ウッドクラフト展は
木工クラフトの全国公募展です。

木のぬくもりあふれる
「おもちゃ」を募集します。

(ジュニアの部は
おもちゃに限定しません)



一般の部：平成28年7月1日～8月15日消印有効
ジュニアの部：平成28年7月1日～9月15日消印有効
主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
http://nenrin.org/w_craft/

一般の部
グランプリ賞金
50万円!

アートクラフトフェスティバル in たんば

平成28年
10月1日(土)～2日(日)
芝生が広がる丹波年輪の里の
心地良い空間で、「アートクラフト
フェスティバル in たんば2016」
を開催致します。



お問い合わせ先

～25種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さな
アクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料を
ご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 兵庫県立丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3
TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727
URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org
木工作利用時間 9:00～17:00 (工作受付は16:00まで)
休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日) 年末年始12/29～1/3

入館無料
工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)
団体貸切要予約

兵庫県立ささやまの森公園

平成28年7月

- ・ヒメボタルを観よう
- ・親子で木工教室
- ・梅味噌と梅ジュースを作ろう
- ・草木で染めよう～フジ～
- ・セミのぬけがらを探そう
- ・ささやまの森探検隊
～知られざる秘境地帯をゆく～
- ・虫とりをしよう
- ・丸太のテーブル作り(全2回)
第1回ヒノキの伐採



ささやまの森探検隊

8月

- ・草木で染めよう～藍の生葉～
- ・水辺のいきものを探そう
- ・夏休み特別企画
～太陽光を使ってお菓子作り&鳥の置物作り～
- ・宿泊キャンプ
- ・四季の和菓子を作ろう～金魚鉢～

森の時計を作ろう



- ・森の時計を作ろう
- ・そば道場シリーズ(全4回)
第1回 種まき

9月

- ・ミニチュアハウスを作ろう
- ・草木で染めよう～サクラ～
- ・木の実を味わおう
- ・丸太のテーブル作り(全2回)
第2回テーブル作り
- ・森で遊ぼう
- ・布ぞうりを作ろう



布ぞうりを作ろう

兵庫県立ささやまの森公園

〒669-2512
兵庫県篠山市川原511-1
TEL079(557)0045 / FAX079(557)0201
URL : <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail : csr@sasayamanomori.jp

兵庫県立 丹波並木道中央公園

公園のイベント

- ノルディックウォーキング：毎月第3日曜日
- 花と緑の教室：月に1回程度開催
- 木工教室
大人木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時
子どもクラフト 適宜開催 (*親子活動などでの団体受付は随時)



地図

自動車：
舞鶴若狭自動車道
「丹南篠山口I.C.」
から約5分
電車：
JR 福知山線
「丹波大山駅」から
徒歩10分



■プリザーブドアレンジメント：

年に7回程度開催(7/10サマーアレンジメント)
その他、公園では様々なイベントを開催しています!
詳細は公園のHPまたは、広報紙「PARK LIFE」
をご覧ください。



ノルディックウォーキングの様子

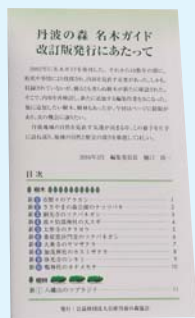
兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐90番地
TEL 079-594-0990 (8:30～17:30)
FAX 079-594-0991
駐車場利用時間：8時～17時30分
入園料、駐車場とも無料
HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>
Facebook: <http://www.facebook.com/namikimichi.park>
Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

「丹波の森名木ガイド」改訂版発行

2002年に名木ガイドを発売して以降、10数年の間に枯死や事情により伐採され、内容を見直す必要がありました。また収録されていませんが、優るとも劣らない樹木が新たに確認されました。そこで内容を再検討し、新たに改訂作業を行いました。

新しい「名木ガイド」を片手に、丹波の隅々まで足を運び、巨木が見つめてきた歴史に思いを馳せてみませんか？



好評
発売中

「丹波の森 名木ガイド」改訂版
..... 500円(税込)

文部科学大臣表彰受賞

(公財)兵庫丹波の森協会が、2016年度子どもの読書活動優秀実践団体として文部科学大臣表彰を受賞しました。当協会が発行した丹波地域に伝わる民話や伝説を集めた「丹波のむかしばなし」(全119話)と、篠山市・丹波市の語りベサークルが小学校や認定こども園などでむかしばなしを語り、子どもたちが民話に親しむ機会を作ってきたことなどが評価されました。



むかしばなしでホッと一息

むかでとみみずのお伊勢まいり

わらの中のむかでと土の中のみみずは大のなかよしでした。むかでが言いました。「みみずさん、お伊勢まいりしよかいな。」

みみずが言いました。「ええごちやなあ。ほんならさつそくあしたの朝暗いうちに出よかいな。むかでさんは足がぎょうさんあるんで、したくがたいへんやろさかいに、おにぎりはわしがこしらえてくでな。」

つぎの朝みみずは、二人分のおにぎりをもってむかえに行きました。むかでは、わらしをいっしょけんめいはいていました。「せつちまつとまつてな。」

「一番どりがなくてもはけません。」

「一番どりがなくてもはけません。」

「一番どりがなくてもはけません。」

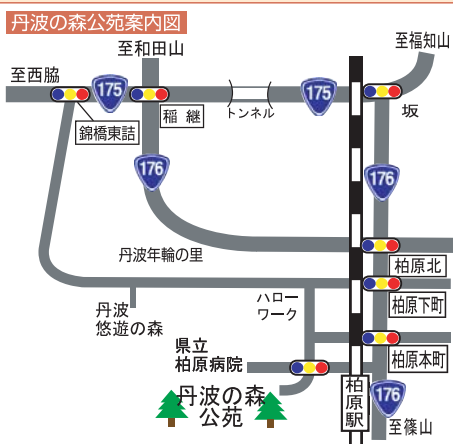
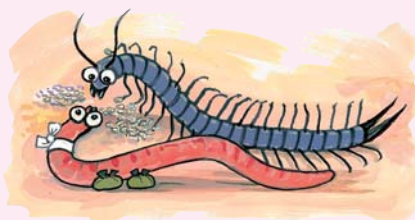
「一番どりがなくてもはけません。」

「一番どりがなくてもはけません。」

みみずも手つだつていっしょにがんばりましたが、まだはけません。それで、むかでとみみずはとつとつお伊勢まいりはできませんでした。それがはるか昔、今でもむかでとみみずはわびくすや土の中にかくれとるやて。

(丹波のむかしばなし第九集より)

江戸時代、『お伊勢参り』は庶民の楽しみでした。丹波地方でも、一生に一回は行ってみたいものというこで『伊勢講』などもできて、助け合った時代もありました。



(公財)兵庫丹波の森協会

〒669-3309
丹波市柏原町柏原 5600

Tel.0795-73-0933
Fax.0795-72-5164

http://www.tanba-mori.or.jp
E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

写真の昆虫は、丹波の森公苑内で見つけられたゴホンダイコクコガネです。体長10~15ミリ程度の小さな昆虫ですが、立派な5本の角をもっています。



さて、ゴホンダイコクコガネの幼虫は何を食べて大きくなるのでしょうか。
①シカなどの動物の糞(ふん) ②草の根 ③土
(ヒント) 足もとに落ちている、迷感なものです

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。(必切7月31日)